

# 宇宙物理学を一緒に受講

## 豊田西高 SSH事業 帰国後もLINEで交流

文部科学省のSSH（スーパーサイエンス）（スーパースサイエンス）事業の一環で豊田市と姉妹都市提携を結ぶイギリス・ダービシャーなどに派遣された豊田市小坂町の豊田西高（杉山賢純校長）の派遣団が帰国した。市役所を訪れ、市長や議長に報告し感謝の気持ちを述べた。

SSH事業の一環として2014年度に友好教育交流協定の覚書を結んだダービシャーのレプトン校などに派遣団を送り、日ごろ取組んでいる理科研究の発表などの教育交流を行っている。

イギリスで生徒らは宇宙物理学の授業を現地生徒と一緒に受講したり、矢作川の外来種のカメや魚などについて発表するなどして交流を深めた。生徒の中にはレプトン校の生徒と帰国後もスマホ向けアプリのLINEで連絡を取り合っている。

報告会には派遣団の生徒9人と引率教諭が参加。生徒3人がプロジェクトを使いレプトン校や大英博物館などさまざまな研修先で学んだ内容について発表した。生徒一人ひとりが「マイベストフット」というテーマで派遣中に最も心に残った写真についてプロジェクトを使いながら発表した。太田稔彦市長は「研修先での経験は今後の人生を豊かにしてくれるはず

の生徒と帰国後もスマホ向けアプリのLINEで連絡を取り合っている。

報告会には派遣団の生徒9人と引率教諭が参加。生徒3人がプロジェクトを使いレプトン校や大英博物館などさまざまな研修先で学んだ内容について発表した。生徒一人ひとりが「マイベストフット」というテーマで派遣中に最も心に残った写真についてプロジェクトを使いながら発表した。太田稔彦市長は「研修先での経験は今後の人生を豊かにしてくれるはず



SSH事業で英国ダービシャーに派遣された豊田西高の生徒＝豊田市役所で

ラグビーW杯、東京五輪で豊田市とダービシャーの関係は今後より深まっていく。その時皆さんには架け橋になってもらいたい」とエール。

2年伊藤太一君（17）当初は現地の生徒と中々話せなかったが、最後は得るものが多く有意義だった。現地の生徒はとも意識は高かったので彼らに負けないよう頑張っていた。1年佐藤愛莉さん（16）は「研修先で現地の人と交流できたのは、とてもいい経験だった。自分から話しかけることができよかった。語学力にもっと磨きをかけてたさんの外国人の友達を作りたい」と振り返り、新たな目標を掲げた。

昨春同校は東大に過去最多の4人が合格。京大

7人、名古屋大に3年連続で40人以上が現役合格した。

【後藤真一】